イノベーション活動（Yume pro カルチャー改革）

OKIは、2018年4月よりイノベーション・マネジメントシステム（IMS）「Yume Pro」の開発に着手しました。2020年度には全員参加型イノベーションを掲げ、2021年度から全社横断でIMSを構築、2023年8月に全社規程を制定して本格運用を開始しています。OKIでは、ISO 56001に沿った「Yume Pro」の全社導入を通じ、経営層による文化浸透、イノベーション教育、「Yume Proチャレンジ」、それに伴う実践支援、社内規程整備などのIMS推進施策を全方位的に展開することで、国内初のISO 56001の認証を取得しました。さらに、これらの知見と、デザイン思考による実践ノウハウを体系化した「IMS支援サービス」の提供も開始しました。

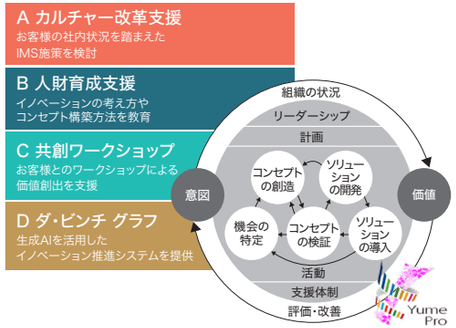
経営計画2031における「未来デザイナー」とは、まさにイノベーション活動そのものであり、IMSを基盤に顧客価値をデザインし続け、社員一人ひとりが意志を持って挑戦できる機会を広げながら、「進取の精神をもって、社会の大丈夫を創っていく。」イノベーション活動を加速していきます。

OKIの企業カルチャー改革の取り組み実績

IMS支援サービス提供開始

2025年度、国内初のISO 56001認証取得実績をもとに、「IMS支援サービス」の提供を開始しました。本サービスは、OKIが築いた知見を共有することで、お客様の企業文化や事業特性にあわせた、イノベーション推進体制の構築を加速する支援を行います。これまでに、カルチャー改革支援や重点顧客との共創支援（共創ワークショップ）などのサービス提供を実施し、ご好評をいただいています。

また、本サービスをきっかけにお客様との信頼関係を構築し、IMSを共通言語とした共創プロジェクトも始まっています。今後は、より多くのお客様との関係構築を推進し、知的資本経営の実践に貢献していきます。



出典：ISO 56001 Introduction Figure1

Yume Proチャレンジの進化

「Yume Proチャレンジ」では、過去8年間で数々の新事業や業務改善アイデアを創出。新事業においては商品リリースまで進み、事業拡大フェーズに移行し始めたソリューションも生まれてきています。今後は日常的に価値創造するためのプラットフォーム環境へと進化させ、「未来デザイナー」育成への各種支援や仕組みを提供していきます。

一例として、経営計画2031の事業戦略実現に向けた、コア事業を革新するアイデアの応募促進をはじめ、生成AI活用アイデアについて、AI担当部門とIMS事務局との連携でコンセプト構築を加速しています。また、高成長事業のアイデアは、海外スタートアップ担当部門とIMS事務局との連携で、よりグローバルな課題解決の価値創出を目指します。



半導体接合技術



尿監視支援システム
「ウロミル」

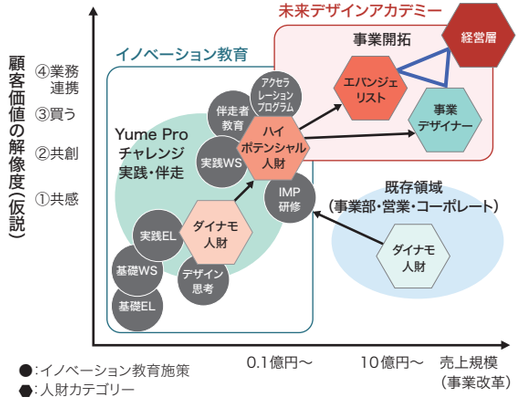


「知的資本経営の実践」に向けた未来デザイナーの育成

未来デザインアカデミー

経営計画2031における知的資本経営を目指すための実行力強化施策として、実践型教育プログラム「未来デザインアカデミー」を開始します。

「未来デザインアカデミー」は、2018年より実施してきたIMSに基づくイノベーション教育で育成されたハイポテンシャル人財の道筋において、さらにハイレベルな「エバンジェリスト」と「事業デザイナー」を育成するプログラムです。「未来デザインアカデミー」での実践型教育により、変化の激しい市場を的確に捉えた将来の事業戦略に向けて、ビッグパートナーとの共創環境の構築、および共創戦略の立案ができる未来デザイナーの輩出を目指します。



AIエージェント「ダ・ビンチ グラフ」



※ 生成AIで作成した画像です。

AIとの対話や文書、業務データ・IoT情報などをOKI独自の「グラフ文書技術」で構造化し、蓄積した知識と生成AIを組み合わせることで、複雑な新規ビジネスの仮説を効率的かつ確度高く構築できるビジネス開発ツールです。新たな顧客価値や事業機会の探索から、ビジネス仮説の具体化までを一貫して支援します。社内では約2,500人が企画立案や知見共有に活用しており、外部への提供に向けて顧客への試行展開も開始しています。